

# 慢性胃炎について

慢性胃炎とは胃の粘膜が持続的に炎症を起こしている状態です。  
胃の病気の中で最も多い病気です。

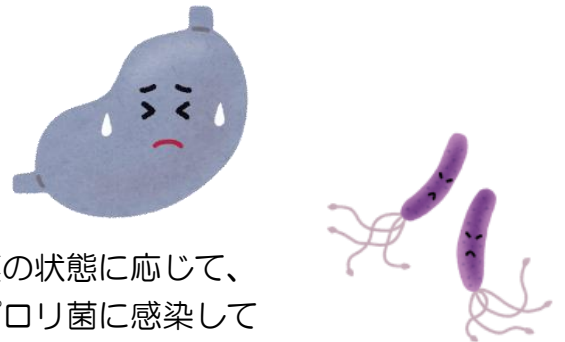
## 慢性胃炎の症状

常に胃に不快感がある  
胃もたれや食後の腹痛  
時に空腹時痛  
食欲不振  
なかにはほとんど自覚症状がない場合もある



## 原因

ピロリ菌の感染（慢性胃炎の8割がピロリ菌の感染です）  
過度の喫煙や飲酒が続いたとき  
加齢による老化



## 治療

内視鏡検査で胃の中を観察し、炎症を起こしている胃粘膜の状態に応じて、  
胃の粘膜を保護する薬や胃酸を抑える薬で治療します。ピロリ菌に感染して  
いる場合は除菌療法を行います。ピロリ菌の除去が最も効果的な治療法です。

## ピロリ菌って？

ピロリ菌が胃の粘膜に感染すると炎症が起こります。慢性胃炎や胃、十二指腸潰瘍を引き起こし、  
進行すると胃がんの原因にもなるとも言われています。  
そのためピロリ菌を除菌すると胃の調子が改善する人が多くいます。  
また、除菌することで胃、十二指腸潰瘍や胃がんを予防することができます。

また、不規則な生活や心身のストレスとなる原因の除去は慢性胃炎の大切な治療法です。  
暴飲暴食は避け、日常生活を見直し心身のリラックスを図ることで治療効果の向上にもなります。

胃潰瘍や胃がんがかかっていることもあるので、年に1度は定期的に内視鏡検査を受け  
健康な胃を取り戻しましょう(^o^)



美味しものをいただくには  
胃のメンテナンスが欠かせませんよね😊